

# 茂木警察署だより

平成24年8月6日発行  
茂木警察署  
(緊急速報)

## いわゆる「田園型事故」に注意!

右の写真のように、平面な水田地帯を縦横に道路が整備されている地域では、見通しのよい十字路交差点における出会い頭の交通事故が多発しています。

今回は、原因と防止対策を3点挙げますので、家庭や職場で注意し合ってください。



### 原因1 コリジョンコース現象

コリジョンコース現象とは、人間の目が

- ・ 動いているものに比べて停止しているものを見つけにくい
- ・ 視野の中心に比べて周辺に映っているものを認識しにくい

という特性から、交差道路の車両同士が衝突する地点に向かって同じ速度で進んだ場合、どんなに視界が良好でも、かなり接近するまで相手を認識できない現象で、気がつかないまま交差点に進入して衝突してしまいます。

→ 防止策

見通しのよいまっすぐな道路では、意識して左右の安全を確認するようにしましょう。  
(顔を左右に向け、視野の中心に周囲の状況が入るようにしましょう)

提供シグナル



### 原因2 ピラーの死角

車体の天板を支えている斜めの柱はピラーと呼ばれています。

運転席や助手席前方のピラーの死角に、交差道路を進行してくる車両が入ると、かなり接近するまで相手を認識できず、気がつかないまま交差点に進入して衝突してしまいます。

→ 防止策

身体を前後に動かすことで、相手の車両を死角から出して認識できるようになります。

### 原因3 交差道路が線に見える

上の写真のように、交差道路が横一文字の線にしか見えず、自分の進路の方が幅員が広く優先道路のように見える場合があります。

相手も同じように見えており、注意が必要です。

→ 防止策

交差点付近では十分に減速して、路面標示や周囲の状況を確認しましょう。  
相手車両の動きをよく確認しましょう。

